



編集・発行

宇都宮短期大学人間福祉学科・
宇都宮共和大学子ども生活学部
「爽風会」同窓会
2017

第14号

学長挨拶

須賀 英之



卒業生の皆様には、各分野
でご活躍のことと拝察いたし
ます。

「爽風だより」も回を重ね、
今回で十四号となりました。
爽風会は、卒業生にとって、
学生時代という人生の大切
な一頁を思い起こし、さらに
励まし合う心の拠り所となっ
ていることと思います。

彩音祭には、今年も大勢

の卒業生にお越しいただきま
した。教職員へ現況のご報告
や卒業生同士での交流等を
積極的に行っておられる姿を
拝見し、お互いの絆の確かさ
を実感することができ、大変
嬉しく思いました。

平成二十九年度は、宇都
宮短期大学（長坂キャンパス）
創立五十周年に当たります。
彩音祭（十一月十八日、十
九日）においても、五十周年
記念のイベントを多数企画し
ております。

皆様には、この記念すべき
年に、本学にお立ち寄りいた
だく機会を作っていただし、「
卒業生に気軽に立ち寄ってい
ただける温かな校風」という
本学の良き伝統を長く繋い
で行って欲しいと、切に望ん
でいます。

本学は、これからも「全人
教育」という建学の精神を礎
に、より良い教育研究を目
指してまいります。

皆様のますますのご発展を
心からお祈り申し上げます。



新役員紹介

二〇一七年四月より同窓会役員が
改正されます。

会長

中川 紘子（人間福祉学科一期生）

副会長

大山 高正（人間福祉学科一期生）

窪見 木綿子（人間福祉学科三期生）

書記

寺門 道子（人間福祉学科四期生）

村彩 実（人間福祉学科八生）

会計

石井 泰之（人間福祉学科三期生）

伴 沙織（人間福祉学科三期生）

会計監査

糸川 昌彦（人間福祉学科一期生）

総務

平成二十九年三月卒業生より選出
予定（若干名）

同窓会役員挨拶

三期生 伴 紗織

みなさん初めまして。
この度、役員に就任致し
ました人間福祉学科社会
福祉専攻 三期卒業生の
伴 紗織です。卒業後は、



福祉業界ではなく、一般
企業に就職し、現在勤務
十二年を 迎えています。
私は仕事をする上で『ご
縁』を大切にしています。
これまでの縁を振り返る
ことで初心にかえる、当時
と比較して今の自分がど
れだけ成長できたのか自
分自身を見つめ直す良い
きっかけになっています。
今回、卒業後なかなか会
うことが出来なかった在学
時代の仲間やお世話になっ
た先生方とまた繋がるこ
とができました。彩音祭で
は毎年同級生と再会でき、
学生ホールや爽風カフェで
当時の思い出話をする事
が楽しみとなっています。
ぜひ皆さんも在学中を思
い出しながらキャンパス内を歩
いてみませんか？これまでの縁、
そしてこれからのご縁を大切に
日々過ごしてみてください

平成27年活動報告

	活動内容
6月	役員会
7月	爽風ホームページ更新
10月	役員会/爽風総会案内状発送
11月	役員会/爽風総会・彩音祭援助・爽風カフェ
H28年3月	爽風だより第13号 爽風ホームページへ掲載 卒業関連行事援助 卒業記念祝賀会出席

平成28活動計画

	活動内容
7月	爽風ホームページ更新
10月	爽風総会案内状発送
11月	爽風総会・彩音祭援助・同窓会カフェ
H29年3月	爽風だより第14号 掲載・更新 卒業関連行事援助 卒業記念祝賀会出席

平成二十八年
十一月十三日（日）

五号館五階ホワイエにて
行われました！

第十四回爽風総会



平成28年度予算

【収入の部】

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
27年度繰越金	9,330,245	9,703,742	373,497	
卒業生会費	860,000	0	-860,000	会計年度修正
卒業企画残金	1,980	1,980	0	
その他	1,513	1,513	0	利子等
合 計	10,193,738	97,072,350	-486,503	

【支出の部】

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
事務費	0	50,000	50,000	
通信費	86,928	100,000	13,072	学祭はがき郵送料
印刷費	0	0	0	
大学祭援助金	200,000	200,000	0	
卒パ補助費	30,000	30,000	0	生花代等
活動予備費	0	50,000	50,000	会議費・ガソリン代・卒パ参加費
HP更新料	13,068	30,000	16,932	HP更新料
同窓会カフェ	50,000	50,000	0	
慶弔費	0	30,000	30,000	
大学支援金	110,000	110,000	0	彩音祭花代 ユニホーム補助
小 計	489,996	650,000	160,004	
次年度繰越金	9,703,742	9,057,235	-646,507	
合 計	10,193,738	9,707,235	-486,503	

収入金額 10,193,738円
支出金額 489,996円
差引金額 9,703,742円

平成27年度決算報告

【収入の部】

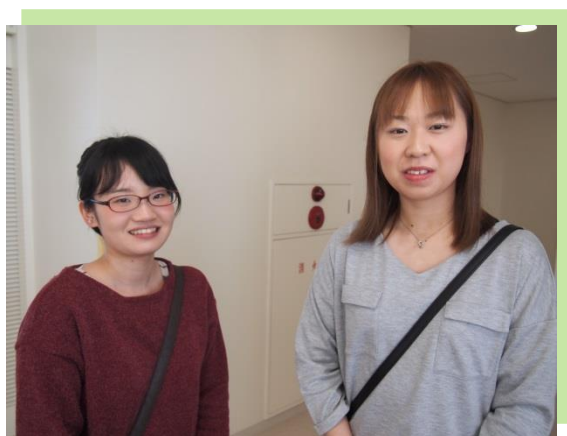
項目	予算額	決算額	比較増減	備考
26年度繰越金	9,330,245	9,330,245	0	
卒業生会費	870,000	860,000	-10,000	人福14期33名 子2期53名
卒業企画残金	0	1,980	1,980	
その他	1,500	1,513	13	利子等
合 計	10,201,745	10,193,738	-8,007	

【支出の部】

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
事務費	30,000	0	-30,000	
通信費	190,000	86,928	-103,072	大学祭はがき郵送料等
印刷費	380,000	0	-380,000	
大学祭援助金	190,000	200,000	10,000	
卒パ参加費・生花代	19,000	30,000	11,000	生花代等
活動予備費	47,500	0	-47,500	会議費・ガソリン代・卒パ参加費
HP更新料	50,000	13,068	-36,932	HP更新料
同窓会カフェ	47,500	50,000	2,500	
慶弔費	95,500	0	-95,000	
大学祭援助金	142,500	110,000	-32,500	彩音祭花代 ユニホーム補助
小 計	1,191,500	489,996	-701,504	
次年度繰越金	9,010,245	9,703,742	693,497	
合 計	10,201,745	10,193,738	-8,007	

差引金額 10,193,738円は次年度に繰り越します。
会 計 大島 豊・丸山 和美・鈴木 陽子
会計監査 石井 泰之

第50回彩音祭



☆ 社会福祉専攻
平山 裕子さん

Q. 今、何をしていますか？

A. 主婦をしています。

Q. それはどんな時にやりがいを感じますか？

A. 子供の成長を身近で実感できるとき。

Q. 短大での思い出は？

A. 食堂や庭で友だちや先生達といろんな話をしたこと。

Q. 同級生に一言！

A. またいつかみんなであっておしゃべりしたい！

Q. 今年の彩音祭はどうでしたか？

A. 懐かしの場所で懐かしい人達に会える機会なのでとても楽しめました！サンマもケーキもおいしかったです！

☆社会福祉専攻
前原一範さん

Q. 今、何をしていますか？

A. 介護福祉士として特養で活動！

Q. それはどんな時にやりがいを感じますか？

A. 利用者からの感謝・笑顔

Q. 短大での思い出は？

A. 合宿交流研修

Q. 同級生に一言！

A. もう一回みんなでワイワイやりたいです(笑)

Q. 今年の彩音祭はどうでしたか？

A. 昨年と変わらず賑やか。楽しいです！



☆介護福祉専攻
鈴木 宏夢さん

Q. 今、何をしていますか？

A. 特養「宮の里」にて働いています。

Q. それはどんな時にやりがいを感じますか？

A. 入居者に感謝の言葉を頂いたとき。

Q. 短大での思い出は？

A. レクフェス

Q. 同級生に一言！

A. 元氣してる？一度みんなで飲み会したい。

Q. 今年の彩音祭はどうでしたか？

A. 昨年よりグレードアップしている！

☆幼児福祉専攻
寺門 道子さん

Q. 今、何をしていますか？

A. 保育園で2歳児クラスの担任をしています。

Q. それはどんな時にやりがいを感じますか？

A. 運動会や発表会で子どもたちが成果を発揮できたとき！

Q. 短大での思い出は？

A. クラスのみんなと水遊び。

Q. 好きだった学食メニューは？

A. オムライス

Q. 同級生に一言！

A. 毎年、彩音祭でカフェのお手伝いをしています。遊びに来てくださいね！

「宇都宮の思い出と子ども時代」

副学長 牧野カツコ

私は東京の世田谷で生まれましたが、三歳のころ戦争のため栃木県のきぬ川温泉に、父の親戚を頼って疎開をしました。姉と二人、林の中の木々や植物を遊び道具として育ちました。終戦を迎えると家族は宇都宮市内に移り、昭和二十一年の四月に、私は宇都宮市立昭和小学校に入学しました。新教育の最初の小学生です。空襲により校舎は講堂を残して全焼したために、講堂をいくつかに区切って授業が行われていたことを思い出します。間もなく平屋建ての校舎が建ちましたが、窓にはガラスではなく障子が入れられていました。それでも校庭で、石けり、おはじき、ゴムとび、なわとびで夢中で暗くなるまで遊んでいたことを思い出します。家の周辺では廃屋となった建物の一部も遊び場でした。年齢の違う子どもたちが集まってお店やごっこのようなことをして遅くまで遊んでいました。勉強しなさい、などとはこの親も言わなかった時代

です。高等学校まで宇都宮で過ごしたのち、大学と大学院時代を東京と千葉で過ごしましたが、昭和四十六年から宇都宮大学教育学部に就職し、また宇都宮に戻りました。若草町の官舎に住み、三人の子ども達は宝木保育園にお世話になり、親や親類の人びとに助けられながら仕事を続けました。子どもたちは官舎の芝生の庭や空き地、広い保育園の園庭でよく遊びました。小学生になると八幡山公園の方まで友達と遊びに行き、斜面を転がったり、土管の中を歩いたりなど、はらはらするような遊びをしていました。

その後私は横浜国立大学に移り横浜で暮らすことになり、定年後また宇都宮に戻ることになった次第です。宇都宮で仕事を再開して、子ども時代の豊かな遊び場と子育てを手伝ってくれたたくさんの方々との深いつながりを思い出し、感謝の気持ちでいっぱいになります。

「子どもの遊びと環境」の授業をしてみても、大学生の皆さんが、意外に自然や自然の道具で遊んでいないことに毎年驚きます。

どうぞお子さんや園児たちに人工の遊具だけでなく、たくさん自然を使った遊びを経験させてあげてください。宇都宮や栃木県は豊かな自然に恵まれた素晴らしい環境です。

「本学の卒業生として自信をもって

活躍ください！」

人間福祉学科 中川 英子

宇都宮短期大学人間福祉学科は、平成十三年に福祉人材の養成を目的として社会福祉専攻・介護福祉専攻を開設しました。以来人間福祉学科では、一七〇〇余名の卒業生を輩出して、多くの卒業生が地域の福祉施設の中堅職員として活躍しています。この十六年間の卒業生の皆さんの貢献により、本学は今日、地域福祉のリーダーを養成する教育機関として、厚い信頼を得るまでになっています。これは、実習巡回指導のとき、ある老人ホームの施設長の方か

感謝しております。

「子どもの造形表現」

子ども生活学科 中畝治子

らうかがった話です。介護の現場では利用者の方々の支援方法について、よく職員間で意見の相違が出てくることがあるそうです。例えば、長年にわたり培った経験知のみを支援の根拠としてきた職員と、そうでない職員などが支援方法について意見が対立した場合です。そんな時、落としどころとなるのは、その支援方法についての理論的な根拠だということです。つまり、この場合、理論的根拠が誰もが納得する支援方法だということです。

その意味で、卒業生の皆さんは、本学でしっかりと理論的根拠を学んで学位を授与された訳ですから、自信を持って利用者の方々の支援にあたっていたきたいと思えます。

ただし、理論的根拠が永遠に正しい訳ではありません。科学は日進月歩です。常日頃の研鑽を積んで学び続けていくことは、学校だけではなく、生涯必要なことではないでしょうか。このように卒業生の皆さんが地域福祉に貢献いただいていること、一教員として誇らしく思うとともに、心から

皆さんは図工や美術に、苦手意識を持っていますか？私は図画工作の授業の最初に、学生さんにこう尋ねます。得意というよりは、苦手と思っている人の方が圧倒的に多いです。いつから、なぜ、苦手と感じるようになったのでしょうか？

絵を描いたり、工作をしたりした時、先生や親（大人）に「上手だね！」と言われるのは嬉しいことでしょう。でも上手にできなければ「上手にできない私は、ダメな子なのかな。」と思ってしまうかもしれません。

私は一応日本画家の端くれで、長い間絵を描いてきました。多くの色々な作品も観てきました。そうした経験の中で、作品の良し悪しは決して上手下手ではないと、強く感じています。上手、下手という価値基

準はとても狭いもので、それほど重要ではないと思っています。上手でつまらない作品は、山程あります。一方で私たちは幼い子供達や障害のある方々の作品に、とても魅力を感じます。だから思うのです。教育現場で「上手ね！」と褒めるのは如何なものか？それは狭く偏った価値基準に子供達を閉じ込めることにならないかと。

子供にとって造形活動は遊びそのものです。楽しくなければいけません。何にも囚われず、のびのびと自分を表現できることを、大切にしなければなりません。造形表現ほど、価値基準が多様なものはありません。子供達に「みんな違ってみんないい。」というこの本質を伝える力が、造形活動にあると思います。自分の表現が認めてもらえることが、自信につながります。そして他の人（友達）の表現を認められるようになります。お互いを尊重できる関係を、培うことができるのです。造形活動は技術の習得や、上手に形がかけるようになるためのものではありません。皆が同じものを同じように作れば良いものでもあり

ません。造形表現は比べる必要も評価する必要もなく、そのまま丸ごと受け止めることが大切です。私たちは、子供の表現をあれこれ想像をめぐらせ楽しめれば良いのです

いかがでしょうか？大人が子供の表現を尊重し、楽しめれば、壁面展示の内容、作品展のあり方は、おのずと変化していくのではないかと期待をしています。

「母校に帰ってみて」

人間福祉学科 勝浦美智恵

卒業生の皆様お元気ですか。宇都宮短期大学に赴任してかなりの年数が経過いたしました。皆様に励ましていただき、仕事と子育てを続けることができました。本当にありがとうございます。

ところで、二年前に母校である大学のホームカミングデーに参加しました。正直、人が多いところは苦手で、初めての場に行くような緊張感がありました。シンポジウ

ムで、日本初男女共学を始めた母校の歴史について学び、各世代の卒業生の方々の活躍も知ることができました。恩師やゼミの学生さん方、天野先生や初めてお会いする先輩方とお話しができ、充実した時を過ごすことができました。特に大学院の留学生の方のお話はとても興味深く、視野が広がった感じがいたします。不思議ですが、「懐かしさ」よりも「新たな出会いによる新鮮さ」が勝っていました。そして、帰る頃に、なぜだか「また頑張ろう」という気持ちになっていました。

宇都宮短期大学でも、時々卒業生の方々が近況報告にきてくださり、仕事や生き方を語りあう新鮮な時間となることがあります。そのような時、何よりも一社会人として心強い気持ちになります。

懐かしさを共有すること、そして新たな出会いや発見をすること、そんな風に同窓会を活用してみたいかがでしょうか。皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

「退職にあたり」

事務局長 信夫 享

宇都宮短期大学附属高校の情報商業科教員として三十二年間の勤務を経て、平成十八年四月宇都宮共和大学・宇都宮短期大学長坂キャンパス事務局長として着任してから、早十一年の月日が過ぎました。仕事内容が全く分からないまま大過なく職責を果たすことができたのも、ひとえに、学長先生のご指導と多くの皆様のご協力の賜物と感謝に堪えません。

特に卒業生の皆さんが、合宿交流研修や彩音祭などの行事等で、お互いに協力しあい成し遂げる姿を拝見し、心強く思いました。今後もお一人おひとりが明確な目標を持って社会生活を充実させ、立派な社会人としてなくてはならない存在に成長されることを願いたします。

爽風NEWS

【新任教職員】

・子ども生活学科 畠山祥正 先生

・子ども生活学科 丸橋亮子 先生

・人間福祉学科 北爪あゆみ 先生

・長坂キャンパス事務局 江田壮一 先生

【退職される教職員】

・副学長 牧野カツコ 先生

・子ども生活学科 中畝治子 先生

・人間福祉学科 天野マキ 先生

・長坂キャンパス事務局長 信夫享 先生



第十五回爽風総会

平成二十九年彩音祭二日目

詳細は後日ご連絡します。

編集後記

今年も彩音祭に参加してきました！おもしろい展示や体験コーナーがあり、とっても楽しかったです。卒業してからも勉強になるイベントが盛り沢山でした！